

2018 戌

語る、年男、年女が



戌年（いぬどし）生まれの7名の方々に、日々の生活、趣味などを語っていただきました。皆さまにとって良い年になりますように。

昭和33年生まれ
高橋 伸也さん（緑栄）



昭和61年に家業を継ぐため置戸にUターン。現在は夫婦二人で店を切り盛りしています。昨年は、地域の人口減少を顕著に感じた1年。商店も減ってきましたが、健康に気をつけて夫婦二人で今後も続けていきたいですね。消防団では分団長として大変なこともあります。やらなければならないことはしっかりやり、楽しくやることがモットーです。最近の趣味は登山。自分のペースで無心になり、ひたすら頂上を目指すことや見たことのない違う景色に楽しさを感じます。日常を離れて、ストレス解消にも。今年の登山の目標は利尻岳です。

昭和45年生まれ
西島 和美さん（若木）



職場であるどんぐりのこどもたちからは、悩みを忘れてしまうくらいいつも元気をもらっています。それから、中学2年の息子のサッカーの試合観戦が、私のストレス解消です。こどもたちが一生懸命に頑張る姿は、勝敗に関係なく良いことなので、観ているのがとても楽しいです。学校祭の合唱では、アカペラを披露し、とても素晴らしかったです。来年も私自身が楽しみながら、そんな息子の姿を追いかけていきたいですね。昨年は、こどもたちとユニバーサルスタジオジャパンに遊びに行きました。とても楽しかったので「今度は沖縄に行きたいね」とみんなで話し合っています。

大正11年生まれ
五十嵐 敏郎さん（中央）



私は電気機械に興味があり、縁あって札幌市内の電気関係の仕事に就職。昭和18年に召集され、樺太国境警備隊の通信兵となり、樺太で終戦を迎えました。捕虜として電気関係の仕事に携わり、樺太で4年間を過ごしました。戦時中、戦友が私と通信を交代した後に被弾し戦死。8月17日のことでした。当時、私たちは負けたことを知らなかったのです。日々、亡くなった戦友のことを思い出し、手を合わせています。

戦後は置戸で電気屋を開業し、90歳まで続けました。今は、町やキッチン木の実、近所の皆さんがとてもよくしてくれます。置戸が一番いい所、今が一番幸せなのではないでしょうか。